

ワールドインテックグループ

2006年12月期中間期 決算説明会

(対象期間: 2006年1月1日 - 2006年6月30日)

2006年9月4日



INDEX

1. 2006年12月期 中間期業績概要
2. 2006年12月期 通期業績見通し
3. WORLD INTECグループ 中期成長戦略

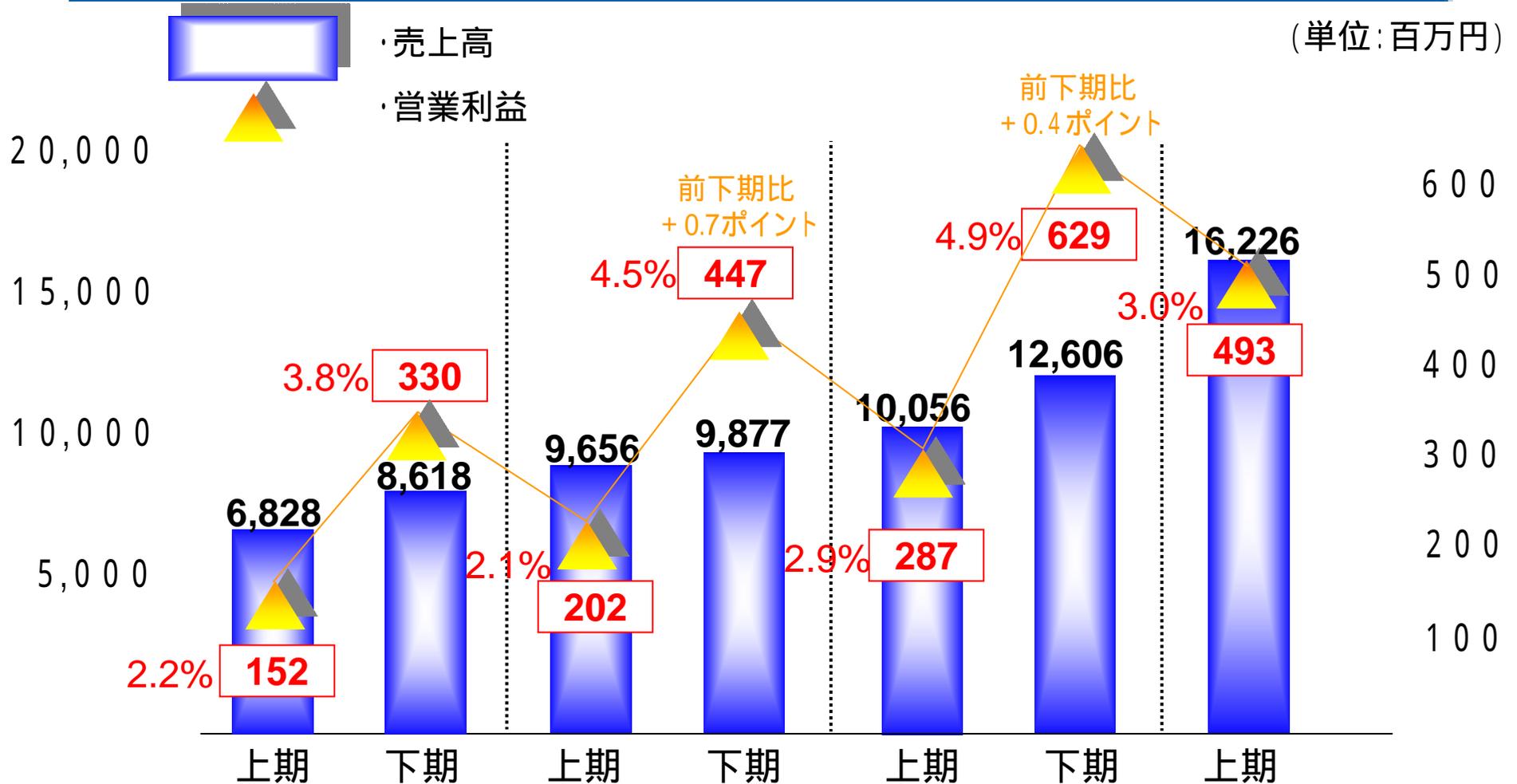
2006年12月期 中間期業績概要

中間期業績概要(連結)

(単位:百万円)

	05年12月期 中間期実績	06年12月期 中間期実績	前年同期 成長率	売上比
売上高	10,056	16,226	+61%	-
売上総利益	1,544	3,028	+96%	18.7%
販売管理費	1,257	2,534	+102%	15.7%
営業利益	287	493	+72%	3.0%
経常利益	257	676	+163%	4.2%
中間純利益	101	248	+146%	1.5%

半期業績の推移 (連結売上高・営業利益)



貸借対照表概要(連結)

(単位:百万円)

資産	05中間期	06中間期	増減	負債・資本	05中間期	06中間期	増減
流動資産	4,672	7,013	2,341	流動負債	2,406	4,920	2,514
現金預金	2,311	2,912	601	買掛金・支払手形		301	301
受取手形及び売掛金	2,217	3,681	1,464	短期借入金	37	550	513
その他	144	420	276	その他	2,369	3,985	1,616
固定資産	475	1,472	997	固定負債	59	82	23
有形固定資産	55	162	107	退職給付引当金	47	69	22
無形固定資産	3	390	387	役員退職慰労引当金	12	13	1
投資有価証券	133	278	145	純資産の部	2,681	3,564	883
繰延税金資産	80	78	2	資本金	682	692	10
敷金及び保証金	182	546	364	資本余剰金	845	855	10
その他	22	18	4	利益余剰金	1,154	1,684	530
				少数株主持分		333	333
				その他			
資産計	5,147	8,485	3,338	負債・資本計	5,146	8,486	3,440

キャッシュフロー計算書概要(連結)

(単位:百万円)

	05中間期	06中間期	増減
営業活動によるキャッシュフロー	188	609	797
税金等調整前当期純利益	257	676	419
減価償却費	8	26	18
法人税等の支払額等	240	250	10
その他	213	157	370
小計	188	609	797
投資活動によるキャッシュフロー	185	207	22
財務活動によるキャッシュフロー	802	623	1,425
現金及び現金同等物の増加額	429	222	651
現金及び現金同等物の期首残高	1,845	3,092	1,247
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,275	2,870	595

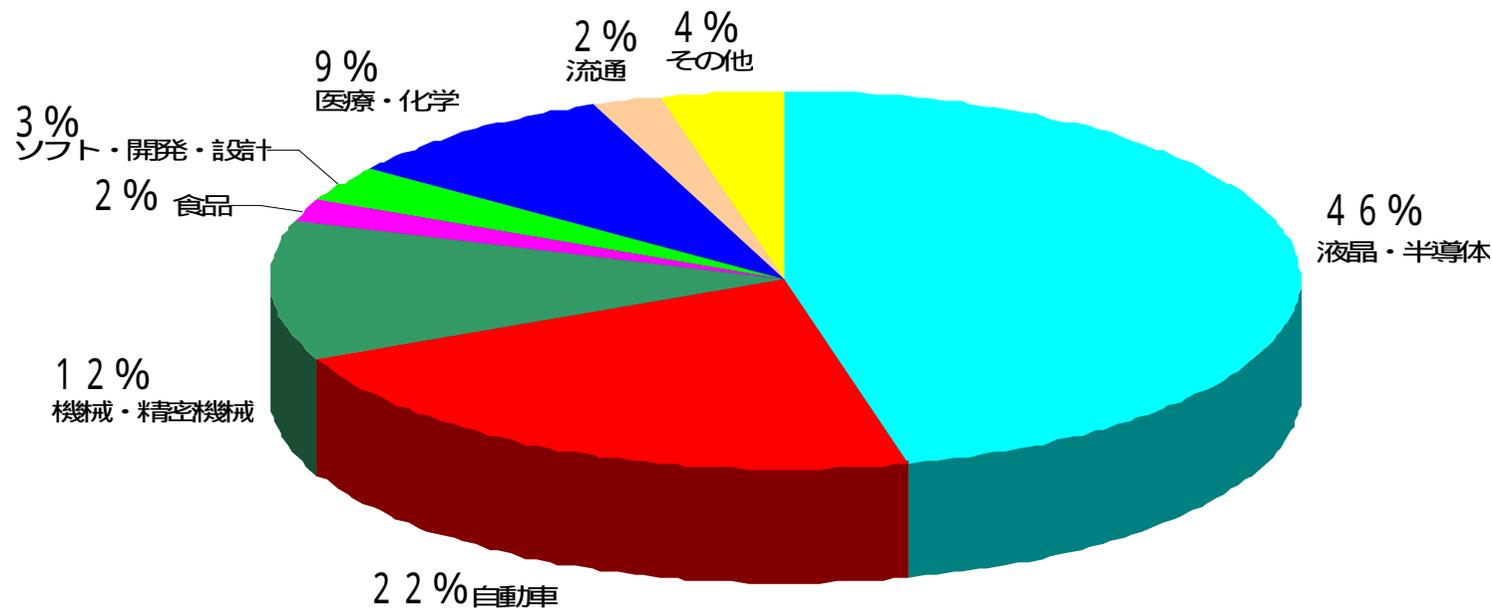
セグメント別売上高・営業利益概要

(単位:百万円)

セグメント	売上高			営業利益			
	05中間期	06中間期	前年同期 成長率	05中間期	06中間期	前年同期 成長率	売上比
研究技術	800	1,125	+41%	63	56	11%	5%
ファクトリー	9,127	12,470	+37%	239	346	+45%	3%
各種 サービス	128	320	+150%	15	12	-	-
情報通信	-	2,309	-	-	103	-	5%

取引業種別売上げ構成(連結)

2006年12月期 中間期(連結)



取引業種別売上げ(連結)上位10社

上位企業

三井金属 / マツダ / 資生堂 / エルピーダメモリー / 東芝 / キヤノン / 日本電気

	取引品目	業務
1	液晶・半導体 / TABテープ	製造・検査
2	自動車 / 車体・部品	製造・組立・検査
3	医薬・化学 / 化粧品・シャンプー	製造
4	液晶・半導体 / DRAM	製造・検査
5	液晶・半導体 / 携帯用カメラモジュール・Fab	組立・検査
6	非鉄金属 / 耐火レンガ	製造・検査
7	自動車 / バックドア	製造・検査
8	液晶・半導体 / 携帯用液晶パネル	製造・検査
9	液晶・半導体 / ウェハテスト技術・プロセス開発	検査・保全
10	液晶・半導体 / メモリ	検査



2006年12月期 通期業績見通し

市場環境に対する考察

【旺盛なニーズに対応するコンプライアンスの強化】

企業収益の一時的でない構造的な改善に伴う人材不足感から、研究・技術・製造・販売等、全般に旺盛なニーズが続いている。

一方、クライアントのコンプライアンス経営の強化から、**適正な法遵守への対応が困難な企業**は淘汰されはじめており、**新たな市場環境**が生まれている。

市場環境に対する取り組み

昨今の報道でも取り上げられております。偽装請負に関する問題は2年前より**特別プロジェクトチーム**を組み、業界に先駆け、労働局と十分な協議を行い、**コンプライアンスを維持し、請負と派遣の区分、労働省告示37号に従事した、本来あるべき製造請負を行うマニュアル**である「**製造請負基準書**」を完成させました。この基準書は労働局より認証をいただいております。これに従い適正な事業を進め、労働局と一体となった、コンプライアンスの推進を実施しております。



通期業績の見通し

(単位:百万円)

	通期 期初予想	06年12月期 通期見通し	06年12月期 中間期実績	進捗率
売上高	34,100	34,657	16,226	47% (前年同期43%)
営業利益	1,100	1,236	493	40% (前年同期32%)
経常利益	1,250	1,345	676	50% (前年同期29%)
中間(当期) 純利益	530	566	248	44% (前年同期24%)

セグメント別業績見通し

(単位:百万円)

	売上高				営業利益			
	2006年度 期初予想	2006 見通し	2006年度 中間実績	進捗率	2006年度 期初予想	2006 見通し	2006年度 中間実績	進捗率
ファクトリー 事業	26,283	26,826	12,470	47% (45%)	864	853	346	41% (33%)
研究技術 事業	2,416	2,499	1,125	45% (44%)	228	260	56	21% (28%)
各種 サービス	672	580	320	55% (34%)	20	10	12	
情報通信	4,753	4,752	2,309	49% ()	0	133	103	77%
合計	34,124	34,657	16,226	47%	1,112	1,236	493	40%

備考:()は前年同期比

WORLD INTECグループ 中期成長戦略

当社のパッション = 経営ビジョン

自由闊達でアイディアに溢れ、社内ベンチャーを活発に創出し、全ての人に働きがいのある職の場を提供することができるグループを構築

「信頼」「ブランド」「市場シェア」

世界の総合人材

アウトソーシングカンパニーを目指します

グループ展開の現状

中国煙台市国際交流センター(煙台市政府企業)との業務提携

アジア諸国と人材交流及びグローバル経済に対応できる優秀な人材確保が目的

(株)ワールドサーチアンドコンサルティング設立

製造分野に特化した人材紹介事業

(株)ウィズコミュニケーション設立

販売/流通分野の売上拡大を視野に入れた、地元最大手(株)井筒屋との合弁会社

産学官連携による「高度産業人材教育センター」設立

高度技術人材育成を視野に入れた西日本工業大学/福岡県/ワールドインテック連携による教育センター



(株)井筒屋中村会長との合弁会社設立記者会見



中国煙台市国際交流センターとの調印式

業界の取り組むべき課題

業界No.1を目指すリーディングカンパニーへ向けて

- 教育による社員のスキルアップ
- 人材のグローバル化への対応
- コンプライアンス

< 3つのテーマの道筋をつけていきたい >

グループの事業ポートフォリオ



「働くことに新しいカタチを与え、
世界に開かれたヒトとヒトのつながりをつくる」

「ものづくり」のワンストップ人材ビジネスを軸に付加価値の高い
総合人材アウトソーシングカンパニーへ成長を遂げます

【研究技術事業】

【ファクトリー事業】

【情報通信事業】

【各種サービス事業】

研究	設計	製造/物流	情報通信	販売/職業紹介
	(株)ワールドインテック (株)ワールドエキスパーツ 台湾人材管理股份有限公司		(株)イーサポート (株)ワールドオンライン (株)モバイルサービス (株)ネットワークソリューション	(株)ワールドコーディネーター ハンク (株)ウイスコミュニケーション (株)ワールドサーチアントコン サルティング
研究開発者派遣	設計技術者派遣	製造請負/派遣	情報通信機器販売	販売員派遣/紹介
	ソフト開発受託		情報システム販売	



各事業分野の現状：研究技術事業

2006年12月期 中間期業績【売上高1,125 / 営業利益56】 (単位:百万)

	前年成長率	要因の分析
売上高	41%	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点展開が順調に進み、新規売上開拓が順調に進んだ ・既存クライアント内におけるシェア拡大に成功
営業利益	11%	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点展開における投資
採用	58% 239名 378名	<ul style="list-style-type: none"> ・研究、技術求人市場における認知度のアップ ・WEBカメラ面接による遠隔採用、新卒卒者向けアニメパンフ好評

06年事業戦略の進捗

<p><u>営業拠点の20拠点体制</u> 10月の京都開設で18拠点</p> <p><u>新卒・フォリナー採用</u> 新卒者(研究/技術者)採用は06年50名見込み フォリナー06年現在10名在籍</p>	<p><u>専門組織の強化</u> 10月より海外戦略室/ソフト推進室を新設</p> <p><u>派遣社員組織化/研修制度充実</u> 派遣社員MGR制度 / 東京薬科大学との短期留学制度</p>
--	--

研究技術事業: 06年度下期以降の成長戦略

成長戦略

営業所開設の拡大計画

【18拠点 30拠点】

海外採用センターの設置

【韓国・中国・インド・欧米】

差別化 & 優位性

研究・技術者の採用拡大

【400名 800名】

新卒 / フォリナー / 団塊世代者の採用
(キャリア採用のみからの脱却)

研究・技術者の評価制度確立

【内部組織へ導入(50 / 50)】

各事業分野の現状：ファクトリー事業

2006年12月期 中間期業績【売上高12,470営業利益346】 (単位:百万)

	前年成長率	要因の分析
売上高	37%	<ul style="list-style-type: none"> ・労働局と一体となり作成した請負基準書による営業展開 ・お客様のコンプライアンス経営のサポートに対する高い評価
営業利益	45%	<ul style="list-style-type: none"> ・受注業務内容の見直しと運営原価の改善
採用	41% 5,736名 8,102名	<ul style="list-style-type: none"> ・全国採用の連携性強化による成果 ・コンプライアンス推進及び福利厚生の充実による安心感の増大

06年事業戦略の進捗

コンプライアンス

労働局と一体となったコンプライアンスを推進

スペシャリストの育成

つくばテック(半導体電子中心)

製造請負基準書に基づく事業所作り

業種別に各2事業所のモデル化

子会社台湾法人の強化

台南へ新拠点を新店

ファクトリー事業: 06年度下期以降の成長戦略

成長戦略

コンプライアンス

- ・製造請負基準書の継続推進と浸透
- ・労働局と一体となったコンプライアンス推進

差別化 & 優位性

営業力

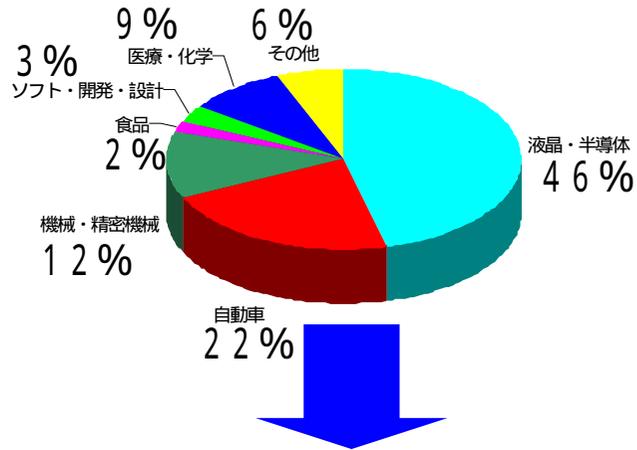
- ・拠点展開と差別化
- ・新規クライアントの獲得
- ・戦略的クオリティーを高める領域
【液晶・半導体】

採用力

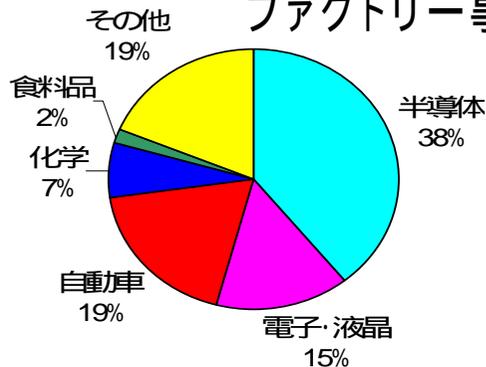
- ・空白地域の開拓
【青森 / 秋田 / 島根 / 石川 / 山形他】
- ・採用センター強化と採用効率の改善
【嘱託の採用】

クオリティを高める領域

2006年12月期中間期(単体)



ファクトリー事業部



【強固な三本柱を構築】

半導体

電子

自動車

クライアントの専門性ニーズに応える為に分科し、クオリティと専門性を高める

差別化 & 優位性

「オペレーター」「保全」の連動性を強みとした一貫型ファクトリーアウトソーシングが強み

ファクトリー事業が目指す生産領域

生産高

他社との差別化



各事業分野の現状：各種サービス事業

2006年12月期 中間期業績【売上高320営業利益 12】 (単位:百万)

	前年成長率	要因の分析
売上高	250%	インポートブランドの新規契約が順調に推移。
営業利益	125%	売上増加に伴い販管費が圧縮ただ、新規受注にあわせスタッフ採用に向けた採用経費も増加
採用	326% 46名 150名	・有名ブランド契約に伴い企業認知が上がった ・交通広告等の展開により登録数も増加

06年事業戦略の進捗

販売子会社の強化

専門性を高めた子会社を新設(WIC)

紹介事業の展開

職業紹介専門子会社を新設(WSC)

販売子会社の営業拠点6拠点体制

名古屋、小倉を年内に新設して6拠点

海外人材の活用

研修生の受入れや海外技術者の採用

各種サービス事業: 06年度下期以降の成長戦略

成長戦略

ワールドコーディネーターバンク

- ・インポートブランドの営業強化
- ・スタッフ、コーディネーターの教育

ウィズコミュニケーション

- ・百貨店とのコラボレーションによる事業展開
 - ・NRCを活用した長/短期の教育カリキュラムカリキュラムの構築
- NRC・販売のプロを育てる日本初の「プロセラー」育成校

差別化 & 優位性

ワールドサーチアンドコンサルティング

- ・グループのネットワークを活用したコンチ型の紹介ビジネスへの参入

海外人材の活用

- ・海外技術者の派遣事業
- ・研修生受入れのコンサル事業

各事業分野の現状：情報通信事業

2006年12月期 中間期業績【売上高2,309営業利益103】 (単位:百万)

	前年成長率	要因の分析
売上高	%	ワールドインテックグループとのシナジー効果による販路拡大が寄与
営業利益	%	コールセンター事業の受注好調が寄与

06年事業戦略の進捗

コールセンター事業の充実

一人当たりの生産性向上の達成

携帯電話販売事業の拡大

販売インフラの再検討(改装・移転計画化)、販売スタッフの教育強化(社内研修所)を実施

OA機器事業の拡大

グループシナジーによる販路拡大(法人)が具現化



情報通信事業: 06年度下期以降の成長戦略

成長戦略

コールセンター事業

- ・一人当たりの生産性向上
- ・人員規模拡大

OA機器事業

- ・グループシナジーによる販路拡大(法人)
- ・営業拠点の増設及び営業人員増員

差別化&優位性

携帯電話販売事業

- ・グループシナジーによる販路拡大(個人/法人)
- ・販売店の改装・移転等のインフラ整備
- ・販売店の増設による販路拡大

< お問い合わせ先 >

株式会社ワールドインテック 社長室 I R グループ

〔東京本部〕 壁谷正利 〔本 社〕 永井宏樹

T E L 0 3 - 3 5 1 6 - 1 1 2 2 (東京本部)

T E L 0 9 3 - 5 3 3 - 0 5 4 0 (本 社)

M A I L i r i n f o @ w i t c . c o . j p

本資料は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績等は今後の様々な要因により、計画数値と異なる可能性があることをご承知おきください。